



千一ムカ合

～学校教育目標～

「気づき 考え 進んで行動する子どもの育成」



カ合小学校だより NO.11

令和5年 10月26日

児童数:502名

文責:校長 馬場康弘

トネリコの木が帰ってきます！

「トネリコの木」は、カ合小学校のシンボルツリーでした。長い間地域の方々に愛され親しまれてきた木です。今でも「トネリコの歌」「とねりこ音楽会」というふうに、子供たちの間でも身近に語り継がれています。

しかし、幹の腐食により倒木の危険性が高まったため、2年前の11月に泣く泣く伐採することになりました。その後、合志市にある「九州育種場様」で伐採したトネリコの木を枝を厳重な管理の下、挿し木で育てていただき、現在以下の写真のように生長してきました。

トネリコの様子（2023年10月）

●屋外に植えかえたトネリコ



高さ 約70cm

高さ 約85cm

●植木鉢で育てているトネリコ



高さ 約30cm

高さ 約35cm

暖かくなっていく来年3月の1週目から2週目の間で植樹してはどうかと助言を受けましたので、その時期に植樹を予定しております。



【伐採前のトネリコ】



【伐採されるトネリコ】

2・3年生見学旅行！

3年生は、18日（水）にJA 熊本市柑橘選果場を見学しました。これまで社会科の教科書で学習したことを現地で見聞を広げることで理解を深めていました。その後優峰園に移動し、みかん狩りを楽しみました。私も一ついただきましたが、とても甘くておいしいみかんでした。



午後からは、熊本市広域防災センターを見学し、体験活動を交えながら、消防署の仕事について深く学ぶことができました。

2年生は、19日（木）に三角町にある宮田農園に体験活動に行ってきました。こだわりの厳選

素材を利用し、電気やガスを一切使わず、ピザやクッキー・おにぎり作りに挑戦してきました。



生活科の学習の延長として、貴重な体験を積むことができました。食に関する意識も高まったことだと思います。

3年生及び2年生の保護者の皆様のご理解とご協力で心から感謝いたします。ありがとうございました。

2回目の雑巾寄贈に感謝！

森病院の患者様より、約300枚の雑巾を寄贈していただきました。今回が2回目となります。



患者様からは、「子供たちに雑巾を使ってもらってうれしい。」「掃除をしている子供たちの姿を想像しながら、楽しく雑巾を縫えた。」という温かいお言葉も多数いただきました。そうした患者さんのお気持ちに伝えるよう、子供たちはこれからも無言掃除を頑張ってくれると思います。

重大事故になる前に！

ヒヤリハットとは、危ないことがあったが、幸い大きな事故には至らなかった事象のことです。ハインリッヒの法則（300：29：1）では、1件の重大事故の裏に、29件の軽微な事故、300件の無傷事故（ヒヤリハット）があるとされています。



ヒヤリハット	軽微な事故	重大事故
違和感 気づき 等	いじめ（初期） 不適切な言動 等	いじめ 犯罪 等

今、子供たちの様子を見てみると、とねりこ音楽会に向けて集中して取り組んでいる半面、何となく心が落ち着かず、地に足がついていないような子も見られます。上の図では、「29」の段階と考えています。放課後も地域の方から、子供たちのことについて、お電話がかかってくることもあります。

先日、現在の子供たちの状況を全職員で共有する臨時の会議を設けました。自他の命を大切にすること、学校に不要な物は持ってこないこと、安心安全な環境づくりにさらに力を入れること、望ましい言葉遣い等について共通理解しました。そして、翌日学年ごとに児童集会を開き話し合いをもちました。

危機意識を一段上げて全職員ですべての子供たちを見ていきます。ご家庭でも何かお子さんの様子で違和感（ヒヤリハット）を感じられましたら、学校までご相談ください。もちろん、よい情報もお待ちしております。

児童の安否確認訓練にご協力を！

市立学校・幼稚園では、熊本市が実施する震災対処訓練の一環として、「児童生徒の安否確認体制強化訓練」を行うこととなりました。

詳細につきましては、安心安全メールで後日お知らせいたしますが、訓練の一環として実施期日を事前に周知しないようになっております。ご理解の上、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。